

平成 19 年度 川崎市国際交流センター 事業報告書

(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

1. 情報収集・提供事業

■ 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センター図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係の図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- (1) 利用時間 午前 10 時～午後 8 時 (開館日)
- (2) 利用対象 小学校高学年以上
- (3) 閲覧等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- (4) 利用者数 13,867 人
- (5) 閲覧件数 図書等 (3,325 件) ビデオ (1,058 件)
- (6) 蔵書数

書 籍	12,755 冊 和図書 10,692 冊 外国語図書 2,063 冊
新 聞 (日刊・週刊など)	23 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 4 紙 ポルトガル語 1 紙 スペイン語 1 紙 日本語 12 紙 フィリピン語 1 紙 日本語 / 中国語 1 紙 日本語 / フランス語 1 紙
情 報 誌	194 誌 和雑誌 114 誌 外国語雑誌 60 誌 在日外国人向け 20 誌 生活情報誌
ビデオテープ	473 巻
新聞スクラップ	82 タイトル 360 ファイル

(平成 20 年 3 月末現在)

■情報ロビー等の運営

(1) 外国人への情報提供（情報ロビー）

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

(2) 姉妹・友好都市の紹介（ギャラリー）

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

(3) 国際交流に関わる情報提供（談話ロビー、プロムナード）

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットなどを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

(4) 国際交流に関わる情報交換（談話ロビー）

市民や外国人市民、団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。（19年度利用件数 79件）

(5) 各国紹介パネルの展示（プロムナード）

在日大使館などから提供いただいたポスターをパネルとしてプロムナードに掲出し、紹介した。

■センターホームページ等の運営

センターホームページなどインターネットを通じた情報提供を行った。

(1) ホームページの運営

国際交流センターの専用ホームページを通じて、センター施設の紹介及びセンター事業の広報ならびに情報提供を行った。また、ホームページの内容の迅速な更新を行った。

- ・センターウェブサイトアクセス件数 37,601件
- ・ホームページの更新（520回）
- ・URL <http://www.kian.or.jp/kic/>

(2) インターネット用パソコンの設置

インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

[利用時間] 午前9時30分～午後8時30分（休館日を除く）

[利用内容] インターネットの閲覧のみ。

[利用料] 無料。1回あたり30分まで（19年度利用件数 3,793件）

2. 広報・出版事業

■国際交流センターだより等の発行

1 「国際交流センターだより」の発行

- (目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。
- (発行) 年11回(月刊、但し、7・8月号は合併号)
- (部数) 3,500枚
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、中原区住吉地区町内会に回覧、その他関係機関など

2 情報誌「K I A N」(キャンニュース)の発行

- (目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。
- (発行) 年4回(季刊)
- (発行部数) 4,000部
- (編集等) 協会所属のボランティアが編集会議、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、市内小中学校、ボランティア、関係団体など

3 日本語講座「日本語教科書」の作成支援

- (趣旨) 日本語講座の講師として活動しているボランティアが自主的に教科書の改訂版を作成することとなり、当協会もこの事業に支援を行った。
- (補助) 財団法人自治体国際化協会から、「平成19年度地域国際化施策支援特別対策事業」として、作成事業に対する助成金の交付を受けた。
- (内容) 川崎市国際交流協会日本語講座教科書
- 「日本語160時間」(下) 別冊・ことばの絵
 - A4版、224P、300部
 - 編著者・発行：川崎市国際交流協会 日本語ボランティア「日本語教科書を作る会」
- ※「日本語160時間」(上)については、2005年4月に初版第3版を改訂済

3. 研修事業

■日本語講座

外国人市民等の皆さんの日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催

(開催講座)

○午前コース (10:00～12:00) 年間3期、週2回 (火曜、金曜日)、託児あり

1学期：4/24～7/13 (22回)、2学期：9/21～12/7 (22回)、3学期：1/11～3/7 (17回)

○夜間コース (18:30～20:30) 年間3期、週1回 (水曜)

1学期：4/11～7/11 (13回)、2学期：9/5～12/12 (15回)、3学期：1/16～3/12 (9回)

(講師) 協会登録の日本語ボランティア講師

(場所) 川崎市国際交流センター

(受講者数) 延べ 326名

(2) 特別講座等の開催

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

- ・ 市内見学
- ・ 手芸講習会
- ・ 梨もぎ体験
- ・ 書道体験

(3) 日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

(時期) 平成19年11月17日(土)

(内容) 中級の教え方

(参加者) 協会登録日本語講座ボランティア 30名

■国際理解講座

市民の国際理解を深めるため、音楽及び外国語を通じた国際理解講座を開催した。

1 国際文化理解講座（講座名「音楽でめぐる世界の旅Ⅱ」）

音楽を通じて市民の国際理解を深めるため、それぞれの土地で生まれた音楽やその特徴をCDや映像で学びながら、そこで暮らす人々の気質や考え方を理解した。

(1)夏の旅・ヨーロッパ編

（期日） シリーズ4回

（会場） 川崎市国際交流センター

（内容） 6/19 イギリス音楽 ルネッサンス期のリュート歌曲ジョン・ダウラント、バロック期に「イギリスのオルフェウス」と謳われたヘンリー・パーセル、20世紀の音楽家たちなど、イギリスの代表的な音楽家を取り上げた。

6/26 スペイン音楽 かつてキリスト教とイスラムが共存した時代を持つスペインの古い音楽を紹介し、20世紀のアルベニス、グラナドス、ファリャ、モンポウについて鑑賞した。

7/10 ロシア音楽 ロシア音楽について、独自のアイデンティティを持ち始めた19世紀半ば以後の国民楽派などから20世紀、とりわけソ連時代のショスタコーヴィッチまでを取り上げた。

7/17 北欧（ライブ演奏） ノルウェーのグリーグ（没後100年）、フィンランドのシベリウス（没後50年）の記念の年にあたり、洗足学園音楽大学の卒業生によるライブ演奏を鑑賞した。

（参加者） 延べ 401名

(2)冬の旅・ヨーロッパ周縁を訪ねて

（期日） シリーズ4回

（会場） 川崎市国際交流センター

（内容） 2/7 ケルト音楽 日本でも人気のある「リバーダンス」やエンヤはケルト系のアイルランドのもの。長い歴史の中で人々に愛され続けているバグパイプの曲からポップスまでを鑑賞した。

2/14 ロシア音楽 日本でもヒットした「百万本のバラ」を初めとするロシアのポップスやバラライカ・アンサンブル、またロシアの大地を思わせるような地声で歌われる民謡などを紹介した。

2/28 バルカン半島の音楽 ブルガリアやギリシャには、西ヨーロッパとはまるで異なる音楽文化がある。特にブルガリアの合唱はテレビなどでCMにも使われ、インパクトのある響きがある。

3/6 アイルランドの音楽とダンス（ライブ演奏） ケルト音楽で最もポピュラーなものの一つであるアイルランド音楽とダンスを鑑賞した。

（参加者） 延べ 164名

2 外国語による国際理解講座

(1) 英語による国際理解講座

「映画」を教材として、英語による国際理解講座を開催した。

バリー・レビンソン監督脚本作品『わが心のボルチモア』 原題：Avalon、1990年

日 時	内 容	講 師	延べ受講者数
11/10、17、24 (土) 午後2時～3時30分	DVDの一部上映と聴き取り、移民等についての説明	ジョン・プラスキー氏	39名

(2) 英語による国際理解講座

「英語の歌」を教材として、英語による国際理解講座を開催した。未就学児同伴も可能とし、最終回にはピアノ伴奏による発表を行った。

日 時	内 容	講 師	延べ受講者数
12/7日(金) 12/14日(金) 午前10時30分～12時	原詩の学習	ハリエット・ホックワール 東洋英和女学院中高部 講師	50名
12/21日(金) 午前10時30分～12時	おさらい会 (発表)		28名

(3) 中国語による中国理解講座

慶応義塾大学日吉国際センターの留学生と当協会の登録ボランティアを講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。

期 日	内 容	講 師	延べ受講者数
第1回 10/13(土)	現在中国で人気のある英語教育集団	留学生・協会ボランティア	72名
第2回 10/20(土)	楊貴妃		
第3回 10/27(土)	ラーメン定食から見た日本人		
第4回 11/3(土)	たかが関西弁されど関西弁		

4. 国際交流促進事業

■日本語スピーチコンテスト

川崎市内の就学生、留学生及び市内の日本語講座の受講生を対象に、日本語スピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。

- (期日) 平成20年2月16日(土) 午前10時～午後2時
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール他
(内容) スピーチコンテスト、交流会
(主催等) 主催：川崎市国際交流協会 後援：川崎市教育委員会
協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご、山下秀男 評議員
(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人の方で、市内の日本語学校、大学、市民館等の日本語講座の受講生
(出場者) 11名
(聴衆参加者) 200名

■国際文化交流会

1 第13回クロコディロスコンサート

ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサートを開催し、アメリカの音楽文化を通じて市民の国際理解を深めた。

- (期日) 平成19年6月23日(土) 午後2時
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール
(内容) 男声アカペラコンサート
(入場料) 前売り券2,000円 当日券2,500円 中・高校生券1,000円
(参加者) 大人150名 中高生 6名

2 ときめき・世界の音楽シリーズ「魅惑の音楽紀行」

世界の代表的な音楽と踊りを通じて、国際理解を深めた。

①アルゼンチン「タンゴ」

- (期日) 平成19年9月8日(土) 午後2時
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール
(協賛等) 後援：「音楽のまちかわさき」推進協議会
(内容) バンドネオンをはじめとするタンゴバンドの演奏とアルゼンチンタンゴ
(出演者) ○タンゴバンド： Tango-Jack

早川 純(バンドネオン)、丸川 綾子(ピアノ)、水野 慎太郎(バイオリン)
○ペアダンス： ギュー&ラム

(入場料) 1,500 円

(参加者) 230名

②イタリア「カンツォーネ」

(期日) 平成19年11月4日(日) 午後2時

(会場) 川崎市国際交流センター・ホール

(協賛等) 後援：「音楽のまちかわさき」推進協議会

(内容) カンツォーネを通じイタリア音楽を鑑賞

(出演者) 歌手：近藤 英一、はらだじゅん

(入場料) 1,500 円

(参加者) 230名

③スペイン「フラメンコ」

(期日) 平成19年12月2日(日) 午後2時

(会場) 川崎市国際交流センター・ホール

(協賛等) 後援：「音楽のまちかわさき」推進協議会

(内容) フラメンコギター特有の演奏と情熱的な踊りでフラメンコの世界を表現

(出演者) ギター演奏：イ・ケ・ガ・ワ フラメンコ：ローラ

(入場料) 1,500 円

(参加者) 230名

■センター施設環境促進事業

1 ロビーコンサートの開催

「国際交流センター」を身近な場所として利用していただくとともに、各国の音楽と演奏を気軽に楽しんでもらうため、談話ロビーにおいて、ロビーコンサートを開催した。

(1) 第1回ロビーコンサート

(期日) 平成19年7月14日(土) 午後6時～7時

(会場) 川崎市国際交流センター・談話ロビー

(内容) ○クアトロによるラテンアメリカ音楽(トロピカル・ポップス)

○シタール(琴)とワヤン(インドネシア影絵)によるジャワの世界を表現

○休憩時にコロンビアコーヒーとジャワティーの試飲

(出演者) フェルナンド・ガレアノ、スミヤント

(入場料) 無料

(参加者) 105名

(2) 第2回ロビーコンサートの開催

(期日) 平成19年12月9日(土) 午後2時~3時

(会場) 川崎市国際交流センター・談話ロビー

(内容) ○二胡の演奏と参加者との交流
○休憩時に烏龍茶とジャスミン茶の試飲

(出演者) 王 淑 麗

(入場料) 無料

(参加者) 約300名

2 川崎市国際交流センター活用企画検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、商店街、町内会、学校、外国人市民他関係者による「川崎市国際交流センター活用企画検討委員会」を設置し協議を行った。

(1) 第1回検討委員会

(期日) 平成19年7月24日(火)

(内容) ○平成18年度国際交流センター事業報告、19年度事業計画について
○情報ロビー内の検索システム撤去に伴う施設の有効活用について

(2) 第2回検討委員会

(期日) 平成19年9月4日(火)

(内容) ○第1回検討委員会の議事概要について
○検討課題の取りまとめ案について

(3) 第3回検討委員会

(期日) 平成20年2月26日(火)

(内容) ○情報ロビー等の改修及び活用について
○今後の検討課題について

3 センター施設見学会の開催

国際交流センターの施設を広く市民に紹介し利用促進を図るため、センター施設見学会を開催した。

(期日及び参加者)

第1回 平成19年6月 4日(月) 参加者 8名

第2回 平成19年9月10日(月) 参加者 11名

■国際交流センターの管理運営

1 施設運営及び維持管理業務

(1) 統括業務

○施設の運営及び維持管理業務が円滑に行えるよう、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

(2) 施設利用受付及び案内業務

○来館者に対するサービスを心がけ、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に実施した。

○国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、公共施設利用予約システムや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

(3) 施設利用促進業務

○インターネットならびに自治会・町内会、各種サークル団体、学校、地域住民への回覧やチラシによる情報提供を行い、効率的、効果的な利用促進を図った。

○国際交流センターホテルとの連携を図り、宿泊に伴う案内や各種事業等の施設利用誘致を図った。

(4) 図書・資料室管理業務

○一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として様々な情報の収集・分類を行った。

○小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、サービスの提供を行った。

(5) 施設・設備の維持管理及び補修業務

○国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対して安全で快適な環境を提供するよう維持管理及び補修業務を行った。

○業務の実施にあたり、中央監視システム及び巡回点検を実施し、諸設備の安全な運転監視及び操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。また、異常や異常の予告を事前に察知し、適切な措置を行い、設備の耐久化を行った。

○施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

○巡回点検により、施設及び設備の劣化状況や異常を的確に把握し、迅速な処理を実施して効果的な管理を行った。

(6) 舞台及びAV機器等維持管理業務

○市民文化の育成と国際文化交流の場として、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置及び機器類の維持管理を行った。

○業務の実施にあたり、機器の使用説明を行うとともに、適切な操作指導等を行った。

(7) 施設警備業務

○宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携し一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

(8) 駐車場管理業務

○駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

(9) 設備保守点検業務

○施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

(10) 施設環境衛生管理業務

○建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

○空気環境測定業務 年6回（偶数月）

○飲料水水質検査 年2回（3月・9月） 全項目（53種類）

○害虫駆除消毒 年2回（3月・9月）

(11) 施設清掃業務

○施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

○業務は各施設ごとに材質及び用途に最も適した清掃方法で実施し、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

○フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

(12) 植栽維持管理業務

○施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

○イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。

○茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

2 利用実績

(1) 川崎市国際交流センター来館者数（延べ人数）165,381人